

みなみふらの



沖縄美ら海水族

OKINAWA CHURAUMI AQUARIUM

2024 AUGUST No.821

- P2 車座ミーティングを行いました
令和6年度 町職員参加防災訓練
- P3 富良野沿線交通安全指導員合同研修会
令和6年度 南富良野消防総合演習
- P4 南富良野高等学校「学校祭」
- P5 新紙幣に伴う詐欺にご注意ください
8月26日は「火山防災の日」です
- P6~12 南の国の真夏に挑む体験の旅
令和6年 清掃活動
幾寅タイガース8年ぶり全道大会へ！
- P13 町議会定例会 行政報告・教育行政報告
カメラレポート
- P14~17 地域おこし協力隊活動記⑥
- P18~20 監査委員の任命
教育委員会通信
- P21 南富高新聞、学校だより
- P22 ほのお
- P23 子育て支援センター「ぷっこ」だより
保育所の元気な子どもたち
- P24 寄附・寄贈
- P25 南富良野町の公式SNSの登録をお願いします
- P26



沖縄県本部町・南富良野町親善交流事業 (6月24~28日)

南富良野町鉱業振興会と 車座ミーティングを行いました

6月26日、王子木材緑化株式会社鹿越鉱業所、北海道農材工業株式会社東鹿越石灰磁業所及び日鉄鉱業株式会社東鹿越鉱業所3社からなる鉱業振興会と車座ミーティングが、各社2名と町長、町担当職員3名の計10名で行われました。

テーマ1「工業地区内のJR廃線跡地の活用・今後の処理について」では、本年3月末で廃線となった根室本線（富良野〜新得間）の線路や橋が残っていることから今後の撤去計画などについての説明を行いました。テーマ2「旧東鹿越小学校の活用について」では、本町には、湖林道及びスキー場など、多様な環境が整っているため、自衛隊員の訓練の支援施設として提供していること



を説明後、今後も全道の陸上自衛隊に利用してもらいたいことから周囲の鉱業振興会に対してご理解とご協力をお願いしました。テーマ3「幾寅鹿越線の舗装工事に関する情報提供について」では、幾寅鹿越線の舗装工事を8月から予定しているため、今後の計画についての説明を行いました。

また、「コロナ禍が明けワカサギ釣りの観光客により、工場付近への違法駐車が増えた。トラックの通行の妨げになるので駐車場を増やすなどの対応をしてほしい。」との要望がありました。

今後も「町民の声を大切に、思いを共有し、一緒に取り組むまちづくり」を推進していくため、皆さんの「声」をお待ちしています。車座ミーティングをご希望の方は、町ホームページ、または役場企画課企画振興係までお申し込みください。



▲町ホームページ

令和6年度 町職員参加防災訓練

有事の際に備えて

6月28日、役場で職員参加防災訓練（災害対策本部訓練）を実施しました。

昨年度の防災訓練は、災害時の受援（関係機関から応援を受ける）をテーマにした訓練を行いました。今年度は大規模災害発生時に災害応急対策活動を行いながら、併行して実施するべき通常業務の優先順位について、各班ごとに検討しました。

また、「南富良野町業務継続計画」（令和2年5月策定）に対する職員の理解を図るとともに、計画の検証を行うことを目的に取り組みされました。災害発生時には、応急対策業務



が新たな業務として急増し、通常の業務と合わせると膨大になることから、あらかじめ優先する業務を特定しておくことにより、非常時であっても必要な人員を有効に活用し、円滑で適切な業務ができるように同計画が策定されました。

訓練では、それぞれの部署が行う日々の通常業務と災害が発生した際の応急対策業務について、どの業務を優先して行うかなどの検討を行い部署ごとに取りまとめました。その後、共通認識の確立のために、取りまとめた内容を各部署ごとに発表しました。

今回の訓練では、非常時の優先業務を明確化しておくことで、有事の際には、優先業務を集中して取り組むことが可能となり、発災から早期の復旧・復興が可能となることを確認でき、職員の防災意識の高揚も図ることができました。

町では、各種防災訓練を職員や町民皆さまの参加も得ながら、今後も継続していき、町としての防災力を高め、安全・安心なまちづくりを推進していきます。

富良野沿線交通安全指導員 合同研修会を実施

6月29日、富良野沿線の交通安全指導員が一堂に集まり、保健福祉センターみなくるで富良野地方交通安全指導員連絡協議会主催（廣瀬寛人会長）の富良野沿線交通安全指導員合同研修会及びSS運動キャンペーン事業が開催されました。

富良野警察署 野原寿永 署長は、「6月に入ってからは、人身事故が急激に増えていきます。外国人旅行者の一時停止を無視した交差点での事故や、観光シーズンで増えるレンタカーやバイクの交通事故に注意していただきたい。」と挨拶を述べられました。また、近年増えているSNSを介しての特殊詐欺についても注意を呼びかけました。



研修会では、交通事故の注意喚起



研修会では、交通事故の注意喚起による映像を上映した後、富良野警察署 尾谷強 交通課長から交通安全の講話が行われました。講話の中では、富良野管内での交通事故発生状況やレンタカーと外国人旅行者の交通事故対策の内容を話されました。

また、自転車や特定小型原動機付自転車（電動キックボード）の交通事故も増えてきていることから、「自転車で乗る際は、ヘルメットを着用してください。」と交通安全を呼びかけました。

研修会後は、参加者約50名全員が保健福祉センターみなくる前の国道沿いで、交通安全の旗を持ち通過する車両に交通安全の啓発が行われました。

令和6年度 南富良野消防総合演習 消防と自衛隊の連携を強化

令和6年度富良野広域連合南富良野消防総合演習が7月7日に開催され、消防職員と消防団員、特別参加の陸上自衛隊上富良野駐屯地第14施設群の隊員など合わせて約100名が参加しました。当日は、あいにくの雨天のため、南富良野小学校体育館で開閉会式の実施となりました。

これまで本町の防災対応は、上富良野駐屯地第131特科大隊でしたが、部隊改編により油圧ショベルやブルドーザーなどの建築土木の資器材を用いて活動する第14施設群に変更となりました。

正午には、第14施設群による一度に50人分の主食と副食を同時に約45分以内で調理できる野外炊具を用い



ての「野外炊き出し訓練」が行われました。配膳には、幾寅婦人会防火クラブ（後藤治子 会長）と南富良野町商工会女性部防火クラブ（北谷みどり 部長）の協力のもと、来場した町民や団員、関係者にカレーライス180食が、振舞われました。

式典時の挨拶で、河端純一 第14施設群長は「これまで南富良野町と第131特科大隊が築いた関係を引き継ぎ、これまで以上に関係・連携強化を図ることを約束します。」と述べられました。また、佐藤博 消防団長は、「これまでの訓練を継続して励んでもらい、有事の際は最善を尽くしていただきたい。」と挨拶を述べられました。

南富良野高等学校「学校祭」

HAPPY HAPPY HAPPY 学校祭馬力はいつもの倍の倍

～晴れなかったら厳しいって～

南富良野高等学校(永谷哲治 校長)では、7月5日(金)・6日(土)に第58回学校祭が開催されました。1日目は、生徒会企画による「お絵かきクイズ」や謎解きをしながら行う「脱出ゲーム」を行った後、体育館で生徒たちが企画から制作まで行った「ヨーヨー釣り」「かたぬき」「射的」「お化け屋敷」の縁日が行われました。2日目は体育館で、生徒や一般の方が見守るなか、吹奏楽部発表会、生徒有志によるステージ発表、各グループによるパフォーマンス、合唱発表、夜には、流しそうめんや生徒が誰かに伝えたい思いのたけを叫ぶ「未成年の主張」、恒例の打ち上げ花火が行われました。また、PTAや町民有志による焼鳥・焼きそばなどのバザーも行われ、お祭り気分をさらに盛り上げていました。

パフォーマンスの披露や合唱発表など生徒全員が一丸となって取り組み、一人ひとり輝いていました。



合唱発表

縁日「射的」



吹奏楽部発表会



パフォーマンス披露



パフォーマンス披露



生徒有志による発表



打ち上げ花火



未成年の主張



流しそうめん

令和6年7月3日の「新紙幣」発行に伴う、 詐欺にご注意ください！

「新紙幣」発行に便乗した詐欺に注意しましょう。

旧紙幣が
使えなくなります

紙幣の交換に
うかがいます



- 新紙幣が発行されても、旧紙幣が使えなくなることはありません
- 新紙幣の交換のために係の者がご自宅に伺うことはありません
- まずは、警察相談専用ダイヤル「#9110」に相談しましょう

8月26日は「火山防災の日」です

気象庁では、多くの方に火山のことを正しく知って火山災害に備えていただけるよう「火山防災の日」特設サイトを開設しました。令和6年6月現在、十勝岳、大雪山の噴火警戒レベルは1で、直ちに噴火に結びつく兆候はありませんが、噴火はいつ発生するかわかりません。

「火山防災の日」をきっかけに火山への理解を深め、火山災害の発生に備えましょう。

▼最新の噴火警戒レベルはこちらから

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#7/43.118/142.69/&contents=volcano>

▼「火山防災の日」特設サイト（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/kazanbosai/index.html>

噴火警戒レベルサイト▶



●お問い合わせ先 旭川地方気象台 ☎ 0166 - 32 - 7102

<https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/index.html>

旭川地方気象台ホームページ▶



「火山防災の日」
特設サイト▶





令和6年度 本部町・南富良野町親善交流事業 南の国の真夏に挑む体験の旅



「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は今年で32回目を迎え、「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、6月24日から28日までの4泊5日の日程で、南富良野町親善交流団（南富良野小学校6年生児童15名・南富良野西小学校6年生児童3名・随員6名）が本部町を訪問しました。

6月24日早朝に本部町を出発した交流団一行は、新千歳空港から羽田空港経由の便で沖縄に向かい、午後5時過ぎに本部町に到着しました。夕食歓迎会では熱烈的な歓迎を受け、自己紹介や体験の旅での抱負、YOSAKOIソーランを元気に披露しました。

翌日には、本部町小学校児童との交流学習をはじめ、琉球文化を知るためシーサー作りや藍染体験、三線体験、バナナボートなどのマリン体験など様々な体験を楽しみました。

3日目は、児童たちが一番楽しみにしていた美ら海水族館の見学やイルカショーを楽しみました。午後からは、本部町の海で存分に楽しんだ後、ホームステイ先で家族と交流を深めました。

4日目は、本部町を離れ、ひめゆりの塔や沖縄県平和祈念資料館などを訪れ、戦争の歴史や毎日を平和に過ごせる尊さを学びました。その後、那覇国際通りを見学し、各々お土産を購入しました。

最終日は、「ゆいレール」の乗車体験を行い、那覇空港で出会った友達のお別れや今回の旅でお世話になった方々に感謝の気持ちを伝え、親善交流団全員が元気に帰町しました。

7月16日役場で行われた解団式では、児童一人ひとりから感想発表があり、美ら海水族館でマンタのエサやりや大きさに感動したこと、ホームステイでは最初は緊張したけど楽しかったこと、戦争の恐ろしさを知り平和の大切さを学んだこと、今回の旅で団体行動力がつくれたので今後の学校生活に活かしたいなど、たくさんの思いを発表されました。



「初めての暑い沖縄」

南富良野小学校
伊藤 心那

1日目、沖縄に着いたとたん凄く暑く、すぐに汗をかきました。暑い中バスで役場に行くとき色んな人が迎え入れてくれました。夕食は、ホームステイに行く友達と食べ、よさこいを披露しました。

2日目は、シーサーを作った後、本部小学校に行き、南富良野の魅力を紹介しました。午後は、色々な体験をしました。一番楽しかったことは三線体験です。音の出方が綺麗で、みんな合わせて合わせれば合わせるほど綺麗な音になったからです。

3日目は、美ら海水族館に行ってきました。この五日間で一番楽しかったです。沖縄でしか見られない生き物を見たり、大きなジンベイザメ、マンタを近くで見られたりできました。もう一つ、イルカショーです。見るのは2回目ですが、4、5匹でやるのは初めてで、みんな協力して凄い物を見せて

くれたからです。その後はご飯を食べました。初めて海ブドウを食べました。「ハナサキマルシェ」で買い物しました。沖縄の食べ物をお土産で買ったお土産を買ったりして楽しかったです。その後、博物館に行きました。昔の沖縄の人達の暮らし方など学びました。一つだけ違うところがありました。服の素材が違い、風が通るように、粗い布地を使っていたことです。その夜は、ホームステイの家族と焼き肉をして花火をしました。とても楽しく素敵な思い出をつくれました。

4日目は、ひめゆりの塔



本部町に到着

と平和祈念資料館に行き戦争について学んで来ました。午後は、国際通りで買い物をしました。南富良野では買えない物を買ったり、お土産を買ったり色々なお店をまわりました。その中でびっくりしたことがあります。ある店の店主が、ハブの卵と書いた袋を持たされ中身を見てみると仕掛けが掛けられていました。びっくりしたけど面白かったです。最後は、女子全員で写真を撮りました。時間が無く急いで撮りました。

一つ目は、焼き肉です。二日目の晩ご飯で、食べま



歓迎夕食会

した。六年全員で焼き肉をしたので楽しかったです。初めてゴーヤを食べました。凄く苦かったです。

二つ目は、イルカショーです。運動会のように、得意な事で対決していました。お互い頑張っていて可愛かったです。

三つ目は、美ら水族館です。マンタの餌やりを見たり、黒潮探検で上からジンベイザメを見られたりしていつもは出来ない事を体験出来たからです。

短い間だったけど、素敵な思い出が何個もできました。また行きたいです。

「思い出たくさん南の国の真夏」



南富良野小学校
大浦 春馬

僕の「南の国の真夏に挑む体験の旅」での思い出は、七つあります。

一つ目は、歓迎会の食事のことです。沖縄の料理やフルーツがたくさんありました。いざ食べてみると、とてもおいしかったです。特別においしかった食べ物は、

パッションフルーツというフルーツです。見た目と味がとてもよかったです。

二つ目は、シーサー作りです。シーサーを見たことにはあるけど、作ることがないので、上手に作れるか不安でした。いざ作ってみると、意外と上手に作れました。特に難しかった所は、顔です。口の大きさが難しかったです。

三つ目は、藍染め体験で



西小ソーランを披露

す。初めての藍染めだったので、「どうやってやるのかな」と思いました。やってみると、とても楽しかったです。

四つ目は、先生や沖縄の

人など、みんなで焼き肉をしたことです。友達みんなと食べる焼き肉は、最高でした。もう一回やりたいです。

五つ目は、海のことです。海に入るのは久しぶりだったので、とてもわくわくしました。海に入ってみると、とても気持ちよかったです。バナナボートに乗りました。波でバナナボートが揺れていてとても楽しかったです。

六つ目は、美ら水族館のジンベイザメです。初めて見たジンベイザメは、とても大きかったです。とてもびっくりしました。「ジンベイザメとてもかわいい」と思いました。

七つ目は、ホームステイです。ホームステイの前の時間は、体調が悪かったので、ホームステイに行けるか心配でしたが、元気になったので、ホームステイに行きました。そこから、ホームステイ引渡し式が終わると、すぐに着替えて、港に向かいました。すると、港に行くと、安里ファミリーと桔平と公平もいました。そして、みんなライフジャケット



南富良野小学校はYOSAKOIを披露

トを着て、船に乗り、沖へ行きました。「ザボン」と波の音がしました。とても気持ちよかったです。水深7メートルの所に着きました。そして、船が止まりました。少しドキドキしました。すると、けいしよう君が海に落とされていました。「あゝあ」と思いました。その後、ぼくたちも海に飛び込みました。とっても楽しかったです。夕日とともに飛び込んだりもしました。とても最高でした。夜は、しっかり寝ました。

沖縄に行つて学んだことは、戦争での出来事について知れました。とてもいい体験だったと思います。

「沖繩の思い出」



南富良野小学校
久保田 夢咲

私が沖繩で楽しかったことは六個あります。

一つ目は、飛行機です。飛行機に乗るのは沖繩が初めてだったのでとてもワクワクしました。実際に乗ってみたら離陸と着陸の時の振動がすごいので酔う人は事前に酔い止めを飲んでおくといいです。飛行機にはテレビとイヤホンが一席ずつ、ついているので暇つぶしに丁度いいです。

二つ目は、バナナボートです。初めての海と初のバナナボートとても緊張しました。実際に乗ってみたら風が気持ちよかったです。そして、もうちょっとスピードを上げて大丈夫そうだったので玲美ちゃんに「もうちょっとスピード上げてもらいますか？」と聞いたら「余裕」と言っていたので、上げてもらいました。それから、水しぶきがたくさんかかったし、波でボートが飛んだのでとても楽しかった

です。

三つ目は、イルカショーです。イルカショーは運動会のように白組紅組に分かれて戦っていました。競技は誰が一番高く飛べるか、



シーサー作り体験

ダンスの二つの種目です。一戦目は白組の勝ちで、二戦目も白組の勝利で、三回戦目も白組の勝利で結果圧倒的に白組の勝ちでした。私は一番後ろの席であり見えなかつたけど迫力満点で楽しかったです。

四つ目は、遊泳です。遊泳とは、水上アスレチックのことです。水上アスレチックのところの遊具は滑り台、ターザンロープ、トランポリン、シーソーの4つでし

た。その中でも一番楽しかったのが、トランポリンと滑り台です。なぜなら、トランポリンは、タイミングを合わせないと変な方向に飛んでくし、転ぶからとても楽しかったです。滑り台は、滑って降りるときに飛ぶのが楽しかったからです。

五つ目は、国際通りです。国際通りでは飲み歩きと食べ歩きができるものがたくさんあったのでいいと思いました。夜になると看板が光ったりしていてとても綺麗でした。

沖繩では夜も暑つく、この5日間でたくさんいろいろな体験ができたし、いろいろなことが学べたので良かったと思います。

「沖繩で楽しかったこと」



南富良野小学校
小林 慶大

僕が沖繩で学んだこと楽しかった事は、四つあります。

まず一つ目は、戦争についてです。戦争がどんなに苦しかったか、どんなに

良かったかをよく考えて見学することができました。戦争は決して良くないことという学徒隊の人々の思いを受け止めることができました。

次に楽しかったことは、美ら海水族館に行ったことです。子供心がそられてとても楽しかったです。特にマンタの餌やりやイルカショーが面白かったです。マンタの餌やりは、普段遅いマンタが、餌が来た時はすぐく速くなるのが面白かったです。その水槽には、ブラックマンタがいてかっこいいと思いました。さらに、ジンベイザメや、あのハンマーヘッドシャークな



小学校学習交流会

ど、色々な生き物がいて楽しかったです。それと、イルカショーは迫力がすごかったです。イルカショーの最後には、イルカが輝いているように見えて、最高にすごいイルカショーでした。そのあともワクワクが止まらなくて楽しい水族館の旅でした。その後に海邦丸へ行つて、美味しい丸餅を食べました。

次に楽しかった事は、シーサー作りです。シーサー作りは思っていたより難しくてびっくりしました。作るときに、口の太さやたてがみのふさふさを意識しながら一生懸命作りました。皆の集中力がすごくて驚きました。僕はやっていくたびに、集中力が切れてもう駄目だと思いつつ、シーサーの顔を作っていました。シーサーの顔を見ると、皆の作品を見ると、一生懸命やったという気持ちが伝わってきました。

もう一つの楽しかったことは、ホームステイです。初めて会って緊張したところもあったけど、上手くコミュニケーションをとりつ

つ、初めての水牛車に乗りました。最初はそんなに速くないだろうと思っていました。でも乗ったら意外と速くて驚きました。次に、海に行つて、目一杯遊んで家に帰りました。夜ご飯は、タコライスと沖繩そばでも美味しくかったです。いつの間にか皆と馴染んでいました

気づいたら朝になっていて驚きました。最後のお別れは悲しかったけど、楽しかったです。

僕は、この旅で十分前行動が大変だったけど、態度などに気を付けて話を聞くことができました。文化を学び、知恵をつけることができました。



南富良野小学校
堀井 海音

「本部町の思い出」

6月24日〜6月28日まで、本部町に行ってきました！

1日目は、5時に学校を出発して、8時45分の飛行機に乗りました。那覇空港に着くと、とっても暑かつ



たです。ホテルについて自己紹介をしました。そして、YOSAKOIを披露しました。上手にできて、よかったです。

2日目は、シーサー作りをしました。黄土色の色を塗りました。完成が楽しみです。そのあと、本部小学校に行きました。南富良野町の紹介をしました。マリオン体験では、プールに入っ泳ぎました。とても楽しかったです。バーベキューでは、肉と、ウインナーと、ご飯をたべました。おいしかったです。

3日目は、美ら海水族館に行きました。ジンベエザメと、魚を見ました。大きくて、びっくりしました。

そこで、熱帯魚のぬいぐるみを買いました。お昼ご飯は、いくら丼をたべました。美味しかったです。そのあとは、水遊びをしました。気持ちよかったです。

4日目は、ひめゆりの塔とひめゆり平和祈念資料館に行きました。見る事ができてよかったです。そのあとは、沖繩国際通りにいきました。そこで、買い物をしました。お昼に食べたみかんが美味しかったです。

5日目は、バイキングで朝ご飯を食べました。ウインナーと、みかんと、ご飯が美味しかったです。そして、ゆいレールに乗って、那覇空港に向かいました。ゆいレールに乗っている途中に街が見えて、きれいで空港を出発しました。千歳空港についてからは、バスに乗って、南富良野町に向かいました。南富良野町に無事に着いてよかったです。本部町での一番の思い出は、泳いだことです。とても暑かつたけど、気持ちよかったです。



南富良野小学校
由利 健人

「初めての道外沖繩旅行」

「ああ、楽しかった。」
これから僕が沖繩に行つて心に残ったことや驚いたことが、五つあるので紹介します。

まず一つ目が、飛行機に乗ったことです。僕は、人生で初めて飛行機に乗りました。初めての飛行機は、とても新鮮でした。最初のうちはゆっくりで、早く動かないかなと内心ワクワクしていました。ですが、離陸態勢になり、動くとき速約360キロメートル(書いていました)で走り出し



バナナボートを楽しみました

たのです。飛行機の中は、体が後ろに倒れるほどの猛スピードでもすごかったです。着陸態勢では、下に下がるので、アトラクションみたいな感じでした。

次にグルメの事です。沖繩には北海道にもあるグルメもありましたが、北海道にはあまり見かけないグルメもありました。ゴーヤチャップルーや沖繩そば、ソーキそば、ラフテー、サーターアンダギー、タコライス、ブルーシールアイス、ソーメンチャンプル、ジュシーなどの、北海道には、なさそうなご当地グルメがたくさんありました。

その中で僕が一番好きだったのが沖繩そばです。沖繩そばには、北海道とは違うそばで平べったいうどんみたいな感じで、そばの苦手な僕でも、おいしく食べられたので良かったです。

4日目の夕食で、サムズセーラーインと言うところで食べたステーキがとてもおいしく、今でも味が忘れられなく、口の中でするほどおいしかったです。ホームステイ先では、家

族の皆さんと他のご家族の方とみんなでバーベキューをしました。ご家族の方とご飯を食べられて嬉しかったし、むーちー（おもちゃ）を作ったりして、とても楽しい時間でした。しかも、他の友達が、さん橋から海にダイビングしていてすごいと思われました。僕も他の友達に誘われて、私服にライフジャケットを付けて飛び込みをしました。とても楽しくて一度始めたらやめられないぐらい楽しかったです。

夜は他のご家族の方と一緒にバーベキューをして、スイカわりや、花火をして、とても楽しかったです。

ここで一つ僕が体験した怖い話を話します。これは4日目の夜、春馬君、稜真君、玲美さん、梨乃愛さん達がアイスを買に行った時でした。僕がシャワーを浴びているとドアがガチャと鳴り春馬君たちかなと思いましたが、いきなり「けいたいよし」という声が聞こえてきて、どういう事かと思いました。僕が「あなた誰？」と聞くと「さあ、誰

だろうね。」と言われびっくりしました。物が荒らされたり、なくなったりしてはいませんが、今でも犯人が見つかっていません。（皆さんもかぎの戸締りをお願いします。）

そして、沖縄の一番の魅力、海について紹介します。

最初は、グリーンフラッシュビーチで遊びました。ここでは、みんなで魚や、バナナボート、サンゴ礁などを見ました。バナナボートでは、僕は酔って途中リタイアしましたが、ゆっくり乗ったときはサンゴ礁や青い魚をいっぱい見られたので、とてもうれしかったです。初めての海の味はとてもしよっぱかったです。



三線体験

次のオーシャンランドでは、水上アスレチックをしてとても楽しかったです。サンゴ礁ツアーで、マグロの養食場や船を見られて楽しかったです。

最後に美ら海水族館で僕は、家族との旅行以外で水族館に行ったことが無かったので、友達と水族館を楽しめてよかったです。僕はジンベイザメを初めて見たので、とても迫力があり、カメの赤ちゃんがとてもかわいかったです。イルカショーでは、色々な技やパフォーマンスが見られて大迫力のステージでした。

僕は沖縄に行つて親にしてみらっていたことを自分でやってみて、とても難しかったです。なんとなく自分で自立できたかなと思えました。

「熱い沖縄の旅」



南富良野西小学校
鹿野 慶洋

北海道から移動して約6



美ら海水族館でのイルカショー

時間たちました。やっと沖縄に着きました。たくさん移動したけれど、飛行機の中では、テレビも見られたし、バスの中では、みんな話したりしたから楽しかったです。僕の沖縄での思い出は四つあります。

一つ目はマリントラックです。海で一番楽しかったことは、サンゴ礁に住んでいる魚を観察することです。川にいるような魚ではなく、青や黄色などの色とりどりの魚がいました。バナナボートはとても速くて、風が強かったので波があり、ゆれて楽しかったです。

二つ目は、美ら海水族館です。とても大きなジンベイザメや体が光っている魚

などきれいな魚がたくさんいました。イルカショーでは、イルカが箱を運んだり高くジャンプをしたりしていました。

そして、もう一つ楽しかったことはお土産を買ったことです。

自分用の大きなチンアナゴのぬいぐるみや、キーホルダーを買いました。事前に調べてみたときは家族で色違いのジンベイザメのキーホルダーを買うつもりでしたが、色が一つなかったため、お父さんにはマンタ、お母さんにはウミガメ、姉にはイルカを買いました。

三つ目は、ホームステイです。ホームステイ先ではまず沖縄のお店で水が乗っているぜんざいを買いました。そこでは、野良猫がいました。たくさん人がいるのに野良猫もいて、驚きました。そのあと、海に行きました。海では水鉄砲で遊んだり泳いだりしました。水が乗っているぜんざいは冷たくておいしかったです。海では8時まで遊びました。北海道ではもう夜中なのに、沖縄は少し明るくて驚きま



もとぶ元気村（オーシャンランド）

家の作りの違い、海の違いなどのたくさん違いを見つけていけることができました。今回の交流事業で訪れた中では、美ら海水族館のあった海洋博物館をもう少し見て歩いてみたいと思いました。

今回の交流事業に参加することができて、貴重な経験ができました。南富良野町・本部町の教育委員会の皆さんと随行してくれた皆さん、ホストファミリーの座安さん、本当にありがとうございました。

「沖縄での学び」



南富良野西小学校
永井 大地

この5日間で、僕はたくさん思い出ができました。一日目は、とてもワクワクしていました。約5年ぶりの飛行機だったからです。離陸や着陸の瞬間に、いろいろな感覚があつて楽しかったです。まるでエレベーターに乗っているみたいでした。

夜の夕食会では、ホームステイの人たちとたくさん話すことができました。よさこいと抱負発表を上手にできて、とてもよかったです。

二日目は、たくさん楽しい活動がありました。その中でも僕は、マリン体験とシーサー作りが楽しかったです。

マリン体験では、やっと海に入れると思います。海を見るととてもきれいでびっくりしました。実際に海に入ったり、もぐったりして魚も見つけることができました。バナナボート

では、波に乗って楽しく活動できたので良かったです。シーサー作りでは、粘土から自分で形を作り、焼いていく作り方でした。難しかったところは、顔のパーツの位置を決める所です。焼いて、完成したシーサーを見るのが楽しみです。

三日目は、美ら海水族館に行きました。水族館の中では、たくさん魚がいまいました。特に、見て感動したのは、ジンベエザメです。他にもウミガメや、マンタの餌やりシーンをみることでいい思い出になりました。

もう一つは、ホームステイがあつたことです。ぜん



平和の礎見学

ざいや、沖縄そばを食べさせてもらいました。僕は、沖縄そばが一番おいしかったです。

四日目は、平和学習をした後、国際通りに行ってみました。ひめゆりの塔で学んだことは、ひめゆり学徒隊は、いきなり戦争が始まって傷ついた兵士たちの看護活動をさせられて、助からない兵士たちを何人も見送ってきたことです。ひめゆり学徒隊の自決で亡くなった人は、53人だそうです。それは、アメリカ軍に捕まったら必ず殺されると教育されていたからです。僕がこのような状況になったら、とてもつらいと思いました。

国際通りで買ったものは、ソーキそば二つとサーターアンダギー一つだけでした。なんと三つセットで1,080円でした。とてもお得な気持ちでした。沖縄限定アイスのブルーシールも食べました。食感がシャキシャキしていてとてもおいしかったです。今までにない食感で不思議でした。

最後の五日目では、ゆい

レールに乗って那覇空港まで行きました。本部町を離れるのは、とても悲しかったけど、たくさん思い出と学びができて、よかったです。また沖縄に行きたいです。



到着式（西小学校）



到着式（南富良野小学校）

地域活動レポート 令和6年 清掃活動

自分たちの住むまちをきれいにしようと、各地区町内会をはじめ、学校、各団体の皆さんが「きれいで住みよいまちづくり」への取り組みとして清掃活動を行いました。

7月16日、南富良野高等学校資格取得部が校外活動として学校周辺のゴミ拾いを行いました。道路沿い隅々までゴミが拾い集められました。



6月28日、町内のラフティング業社で働く方の任意団体「リバーガイドネットワーク」の皆さんが、落合地区の環境美化活動を行いました。各班に分かれて河川沿いのゴミを拾い集めました。



幾寅タイガース

8年ぶり全道大会へ！

第53回全道少年軟式野球大会
富良野支部予選が富良野市で行われ、6チームが参加して、富良野支部の代表の座をかけて熱戦が展開されました。本町の野球スポーツ少年団「幾寅タイガース」(永井友則 監督・団員25人)が見事優勝し、7月26日から札幌市で開催される全道大会へ8年ぶりの出場を決めました。

6月23日に行われた富良野球友ライナーズとの決勝戦では、初回に1点の先制を許すも、その裏に一挙11得点を挙げる活躍でした。その後も相手打線を抑え、攻撃では3回裏に2点の追加点を挙げ、13-1で勝利を納め全道大会への切符を手にしました。

4月に行われたチームの結団式で同少年団には、公益社団法人富良野地方法人会南富良野支部(永井敏広支部長)からヘルメットやキャッチャー道具の寄贈がありました。



町議会定例会 行政報告・教育行政報告

令和6年6月19日に開催されました第2回定例会において、高橋町長が7件の行政報告と鈴木教育長が5件の教育行政報告を行いましたので、内容についてお伝えします。

町長の 行政報告



企画課関連

■令和5年度ふるさと納税 について

令和5年度ふるさと納税の実績は、5,466件・9千179万7千円の寄附をいただき、前年度対比で

は件数で195件の増、寄附額で1千670万3千円の増となり、寄附額は22%の伸びとなりました。人気の返礼品は、昨年度に続きエゾシカ肉を使ったペットフードや南富良野町産メロン、ニンジンジュース、バタジャなどが上位となっております。

新規納税者やリピーターを獲得するため、引き続きデジタル広告への掲載やイベント出店など効果的な情報発信に取り組みとともに、魅力ある返礼品の創出として南富良野高等学校生徒考案による新たな返礼品開発を進めており、本町へのまちづくり支援にご理解を得

られるよう努めてまいります。

■JR根室線富良野新得間の運行終了に伴う記念事業について

3月23日にJR幾寅駅を舞台として平成11年に公開された映画「鉄道員（ぽっぽや）」のストーリーと同じく、本町の発展と礎を築いてきたJR根室線富良野新得間が廃止となるにあたり、映画撮影時のカメラマンを務めた木村大作氏の講演会と映画上映会を保健福祉センターで開催いたしました。

当日は町内外より130名の方が来場され、木村氏より幾寅駅をロケ地と決めた経緯や、映画の時代背景を踏まえ電柱をコンクリート製から木製に取り替えたことなどの撮影秘話が披露された後、映画配給会社である東映株式会社の協力を得て上映会を行い、来場された多くの皆さんから、廃線になるのは残念だが、来



てよかったなどの感想が寄せられました。

運行最終日である3月31日には、幾寅駅舎において「鉄道員（ぽっぽや）・鉄道遺構の保存と活用に関する検討委員会」の皆さんによるコーヒーマシンの無料提供や千里大学生の皆さんによる各駅の歴史を題材とした紙芝居「なつかしの鉄路」が披露されました。

また、東鹿越駅12時10分発富良野行き列車に合わせ、JR北海道主催による「お別れセレモニー」が開催され、南富良野中学校及び南富良野高等学校吹奏楽部の生徒による映画「鉄道員（ぽっぽや）」のテーマ曲が演奏される中、多くの鉄道ファンを乗せた列車の見送りを行ったほか、東鹿越駅からの最終列車の運行に合わせて町内全ての駅において、各地域の自治会や多くの町民の皆さまにご協力いただき、代行バス及び列車のお見送りをいただきました。

ご協力をいただきました各関係団体や町民の皆さまに厚くお礼申し上げます。

まちづくりプロジェクト推進室関連

■JR根室線富良野新得間廃止に伴うバス運行の開始について

JR根室線富良野新得間廃止に伴い4月1日より新たな交通体系として、ふらのバス西達布線の幾寅駅前までの延伸並びに町営バスの運行を開始しました。また、本町を経由する旭川帯広間の都市間バスについては1日3往復から5往復に増便されたほか、新たに落



合地区に停留所が設置されました。

運行開始後4月末までの利用状況は、ふらのバス西達布線では幾寅地区からの乗車人数が337人で1日当たり11・2人、幾寅地区での降車人数が334人で1日当たり11・1人となっております。町営バスでは、森林公園トマム駅間が76人で1日当たり2・5人、金山富良野間が76人で1日当たり2・5人となっております。都市間バスでは落合・幾寅地区からの乗車人数が95人で1日当たり3・2人、幾寅・落合地区での降車人数が92人で1日当たり3・1人と

なっております。

町民皆様の移動手段として地域に根差した持続可能な公共交通となるよう利用促進の取り組みを進めてまいります。

■道の駅なんぷアドベンチャーパークのオープンについて

4月27日に「道の駅」の東エリアに新たな公園である「なんぷアドベンチャーパーク」がオープンいたしました。

当日は、午前10時のオープン前から多くの来場者があり、小学生以下のお子様用に用意した「南ふらのチップス」無料引換券500枚は2時間ほどで全て配布が



終了し、複合商業施設も含め道の駅全体で大きな賑わいを見せておりました。

ゴールデンウィーク中は天候にも恵まれ、約1万8千人と多くの皆様にご来場いただきました。公園内の遊具施設は11月中旬まで利用出来る見込みであります。

産業課関連

■鳥獣被害防止対策について

農業委員会からの建議を受け農作物の被害防止のため本年度から電気柵設置及び捕獲用わな購入に対し一部助成を開始しました。5月末現在電気柵設置は12件、捕獲用わなは5件から要望を受けたところであります。

昨年目撃情報が複数回寄せられたかなやま湖キャンプ場周辺における熊対策については、安全対策として本年度から3カ年の予定で電気柵を設置する計画でありましたが、本年度周辺

の林地で熊3頭を捕獲し他に目撃情報もあることから、計画の前倒しを行い本年度中に総延長約4キロメートルの設置を完了するよう取り進めてまいります。また、本年度予算措置をしました赤外線付ドローンは納品が完了しましたので、熊の発見や監視、追払いなど猟友会と連携し被害防止に努めてまいります。

建設課関連

■国、道の工事関係について

国道関係については、38号線の太平橋架け替え工事、は、昨年度、橋台・橋脚の下部工事が終了し、今年度からは橋上部の製作・架設などが進められます。平成28年の豪雨災害発生に伴い河川計画の見直しにより河川断面が広くなり、橋長は現在より25メートル長い142メートルに、幅員は7.5メートルから9.5メートルに拡張され全体の工事完了は令和7年度の予定

とお聞きしております。また、樹海峠の交通安全対策として頂上部約450メートル区間を滑り止めカラー舗装にするほか、音と振動により車線逸脱を警告し対向車との衝突を防止するため約1キロメートル区間の車道中心線を波状にするランプルストリップスの設置や鹿との接触事故を注意喚起するため路面標示を行う旨の説明を受けました。

幾寅地区MIZBESTEーション水防センターについては、洪水時などの自然災害において迅速な応急活動、復旧活動を行うため必要資機材の備蓄、水防活動・災害復旧作業の拠点施設として、また、平常時には消防団の防災訓練や地域住民の交流活動の場として札幌開発建設部が整備を行います。建物の概要は、鉄筋コンクリート造一部3階建て、延床面積760平方メートルで1階には事務所のほか水防倉庫、

展示スペース、シャワー室、コインランドリーなど、2階には災害対策室、研修室など、3階には発電機室が設置されます。工期は本年10月中旬から令和8年3月までとお聞きしております。

次に本町の「道の駅」が体験型観光のフィールドとして道内で8番目となる国土交通大臣選定の重点「道の駅」に登録されたことに伴い、24時間トイレの新築及び駐車場の一部改修について旭川開発建設部が整備いたします。トイレ内には授乳室並びにオムツ替え室、道路情報モニターが設置される計画で工期は本年7月から来年3月までの予定であります。また駐車場は大型車9台、普通車11台、屋根付き身体障害者用駐車スペース1台を整備する計画であり、現在施工開始時期について協議を行っております。

道道関係については、金山幾寅停車場線のヘアピン

カーブ解消のための線形改良として、改良対象の約2.5キロメートル区間を6つの工区に分けて改良が進められており、既に3つの工区が完了し、今年度は引き続き幾寅側の工区で橋長52メートルの橋梁新設の工事が行われるほか、金山踏切前の村田橋の耐震補強工事が昨年に引き続き進められております。

町道下金山1号線の擁壁改修は道営事業で工事を行うこととなり、工事箇所ので先で農作物を作る地権者と施工業者を交え、少しでも農作業への影響を与えない工事の日程調整等を今後協議してまいります。

河川関係では、道管理のユクトラシユベツ川極楽橋から上流部約1キロメートル区間の護岸拡幅に向けた橋梁の設計及び地質調査が行われております。

■町有地の貸付について
道東自動車道4車線化に

伴う狩勝第一トンネル工事の施工業者が本年1月に大成建設株式会社札幌支店に決定し、町としては地元消費の拡大や地域経済の活性化などが期待されることから、同社に対し幾寅地区への宿舍等の建設要望を行ってきたところ、同社から工事期間中の事務所及び従業員宿舍などの設営に係る用地として町有地賃貸の申請を受けました。職員や作業員の宿舍用地として旧勤労会館跡地と旧東団地跡地を事務所用地として旧共栄センター跡地の3か所を本年5月から工事期間中の概ね5年間貸付することといたしました。最大80名程度の関係者が利用される予定となっており、町・商工会・建設業協会の3者により地元業者の活用に関する要望書の提出を行いました。

教育長の 教育行政報告



令和6年度小中高等学校 における学級編制及び指 導体制について

本年度の町内各学校における学級編制につきまして、南富良野小学校では、

普通学級が6学級、特別支援学級が4学級で児童数は94名、南富良野西小学校では普通学級が3学級、特別支援学級が3学級で児童数は19名、南富良野中学校では普通学級が3学級、特別支援学級が3学級で生徒数は38名、南富良野高等学校では各学年1学級で生徒数は49名となっており、児童生徒数合計で200名となり、前年度より17名増となりました。

職員体制につきましては、学級数に基づく定数配置より、校長・教頭・一般教職員を含め南富良野小学校では17名、南富良野西小学校では11名、南富良野中学校では17名、南富良野高等学校では14名が配置され、合計59名により児童生徒の指導にあたっており、あわせて学習支援員を配置し、支援を必要とする児童生徒への指導の充実を図っているところであります。

■学校活動等について

町内小中高等学校における学校の活動状況等についてであります。4月8日、町内の小中学校3校と南富良野高等学校の4校において入学式が挙行されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後初の入学式ということで、制限

のない中でコロナ禍前のいわゆる普通の入学式が行われ、新1年生は新しい生活に胸を躍らせ、元気いっぱい姿を見せていました。

次に、全国学力・学習状況調査が小学校6年生及び中学校3年生を対象に、4月18日に実施されました。今年度は国語・算数・数学のほかに、中学校では英語も行われました。

今後は、国の調査結果や各学校の採点結果を踏まえ、その結果を検証しながら、学力向上に向けた取り組みを推進してまいります。

小中学校の運動会・体育祭につきましては、昨年度同様、種目を減らすなど時間短縮を図り南富良野中学校では5月25日に、南富良野小学校では6月1日に、南富良野西小学校では6月9日にそれぞれ実施いたしました。

次に、南富良野高等学校の活動状況についてですが、令和6年度南富良

野高等学校の入学者につきまして、地元南富良野中学校から7名、富良野沿線から4名、札幌市や旭川市などから9名の計20名の新

1年生を迎え4月8日に入学式を行い、2年生13名、3年生16名の計49名となり昨年度から17名と大幅に増加したところであります。

これまでの学校の魅力を高める活動や生徒募集PRのための中学校訪問などの成果が表われ、地元や富良野沿線の生徒のほか遠方からも多くの生徒が入学し、9名の生徒が下宿等から通学し勉強や部活動に励んでいます。

また、来年度以降に向けた遠方からの入学者に対する居住環境の整備を進めるとともに、引き続き募集活動に努めてまいります。

■北海道高等学校カヌー選手権大会について

手権大会について

6月7日かなやま湖において開催されました令和6

年度第19回北海道高等学校カヌー選手権大会に、南富良野高等学校男子12名、女子8名が出場いたしました。今年度からは町職員指導者を新たに配置し、指導体制も強化され、入部間もない10名も

出場し、日頃の練習の成果が発揮され、カヤック500メートル男子の部、女子の部、一人乗り及び男子・女子の部の二人乗り、四人乗りの部で、それぞれ優勝した男子5名、女子6名が8月5日から大分県豊後高田市において開催されます、全国高等学校カヌー選手権大会

に出場することとなりました。自分の持てる力を最大限に発揮し、全国での入賞を目指してほしいと思います。

■千里大学について

千里大学につきましては、60歳以上の町民を対象に生涯学習社会・長寿社会にふさわしい学習機会を提供し、高齢者の生きがいづくりと社会参加への促進を目的として、平成2年に開設し、今年で34年目を迎えたところであります。4月11日には始業式を開催し、本年度の在籍者数は32名となりました。学生のニーズに応じた魅力ある授業づくりに引き続き取り組みでまいります。

■沖縄県本部町親善交流事業について

本町と盟約調印をしております沖縄県本部町の児童の交流事業であります

「第32回南の国の真夏に挑む体験の旅」につきましては、



沖縄県本部町親善交流事業 結団式

小学6年生18名と団長及び随行合わせて6名の総勢24名で、6月24日から28日の4泊5日の日程での派遣を予定しているところであります。コロナ禍で中止になっていたホームステイも再開することとなり、次代を担う児童が相互の町を訪問し、様々な体験や交流を通して絆を深め合い、見聞を広げて豊かな心を養う意義あるものとして事業実施に向け進めてまいります。

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎ 52-2115）（FAX 52-2922）までお知らせください。

カメラレポート

CAMERA REPORT

エジンバラ公の森公園を整備 (6月16日)

かなやま湖湖畔にある「エジンバラ公の森公園」の草刈りなどの環境整備が、新山川草木を育てる集い南富良野協会（秋元忠 代表世話人）により行われました。

会員それぞれが持ち寄った刈払機を使い整備を行いました。公園には、オニグルミやアカエゾマツが植えられており、小学生の環境学習の場としても活用されています。



高校生がバス停留所を塗装 (6月20日)

南富良野高等学校（永谷哲治 校長）2学年の生徒は、授業の一環として、「地域のために自分たちでできること」を目的に役場前のバス停留所の塗装を行いました。

5月14日から6月20日までの全4回にわたり、塗料や塗装する際の足場などは、小松建設工業株式会社（小泉勝憲 代表取締役）の協力により実施されました。

お近くに寄った際は、高校生が塗装したバス停留所をぜひご覧ください。



富良野地域「無事故の日」旗の波リレー作戦 (6月25日)

本格的な観光シーズンを迎えるにあたり、6月25日の「無事故の日」に合わせて、無事故を呼びかける旗の波リレー作戦が行われました。

参加した交通指導員協議会や交通安全協会、幾寅婦人会、幾寅寿クラブ、駐在所の皆さんは、町民体育館前の国道沿いで旗を振り、交通安全を呼び掛けました。



エジンバラ公の森公園で環境学習 (6月26日)

南富良野小学校（引地宙志 校長）3年生は、上川総合振興局や森林組合、町産業課職員を指導員として、「エジンバラ公の森公園」で森林学習を行いました。

子どもたちが森林や自然環境に触れ合う機会や人々がどのように自然を利用しているのかを考えるきっかけづくりとして毎年行われています。児童は、樹木や昆虫の名前等を指導員に尋ね、説明を真剣に聞いていました。



町商工会女性部「ビールパーティー」 (7月4日)

町商工会女性部（北谷みどり 部長）主催のビールパーティーが、情報プラザイベントホールで開催されました。親子連れの方や仕事終わりの方など多くの方が参加しました。コロナ禍が明けて、多くの町民が集い、メインイベントの抽選会が行われ大盛況となりました。



南富良野大乗会スポレク交流会 (7月6日)

第41回南富良野大乗会スポ・レク交流会が、行われました。当日は、あいにくの雨天のため、からまつ園ホールでの実施となりました。先に南富良野大乗会の新規職員3名と昨年7月に入ったインドネシア出身の特定技能実習生6名の紹介後、利用者約30名による「よさこい演舞」が2曲披露されました。多くの家族が観覧され、大きな盛り上がりを見せていました。



戦没者の冥福を祈る (7月7日)

先の大戦から79年目を迎え、戦没者103柱の霊を慰めるため、町遺族会主催の「戦没者追悼式」が来賓や遺族の皆さんが参列するなか、忠魂碑前で厳かに行われました。午前11時、参列者全員で黙とうをささげた後、一人ずつ白菊を供え、尊い犠牲者のご冥福をお祈りしました。



しめ縄を神社に奉納 (7月11日)

落合連合町内会では、落合神社にしめ縄を奉納するため連合会の皆さんが、落合多目的センターに集まり、しめ縄作りを行いました。しめ縄は、スゲ草を小さい束に分け、その束をさらにねじり合わせ約2時間をかけ完成させ、14日の神社祭までに奉納されました。落合地区では、地域の皆さんが集まり、古く続く風習を守り引き継いでいます。



ベリー摘み体験

(7月12日)

南富良野西小学校（西田朋代 校長）の児童は、金山地区の小果樹農園を訪れ、ベリー摘み体験を行いました。小果樹農園では、ジュンベリーやハスカップが実りの時期を迎え、児童たちは果実をカゴいっぱい摘み、食べたりして、味や種類の違いを実際に感じていました。摘み取った果実は、それぞれの児童が持ち帰り「家でジャムにする。」「家族のみんなで食べたい。」など感想を述べていました。



「湖水音頭」の伝統を受け継ぐ

(7月12日)

南富良野高等学校（永谷哲治 校長）では、幾寅婦人会（後藤治子 会長）の方と地域の伝統を次世代に受け継ぐことを目的として「湖水音頭」の練習会を行いました。「湖水音頭」は、昭和42年4月1日に南富良野町が町制を開始した際に作製された歌であり、金山ダムの完成を祝うために作られました。地元の婦人会の方々は、長年にわたり踊り継がれてきた「湖水音頭」を高校生たちに丁寧に教えました。後藤会長は、「災害を乗り越え、地域の絆を深める、この音頭を次世代に伝えることは非常に意義深いことです。これからも、地域全体で協力し、この伝統を守り続けていきたい。」と話されました。



「友好の町」沖縄本部町パインアップルフェア

(7月13～15日)

「友好の町」沖縄県本部町パインアップルフェアが南富良野物産センター内で行われました。販売されたパインアップルは、「ゴールドバレル」という品種で、国内生産量1パーセントの貴重な高級パインです。産地直送のパインアップルは、3日間の限定100個で販売され、町内の方や道の駅を訪れた観光客の方々が購入され、完売となりました。



町立保育所「放水体験」

(7月17～18日)

金山保育所（17日）・幾寅保育所（18日）の子どもたちが、「放水体験」を行いました。町立保育所では、毎月行っている避難訓練後に子ども用の消防服を着て、放水体験を実施しました。水の勢いに驚きながらも消防士の方と楽しく放水体験をしました。



地域おこし協力隊活動記⑥

本町では、6名の「地域おこし協力隊」が町の振興や発展のため活動しています。その活動内容や様子を町民の皆さんに紹介します。



アスパラを収穫しました

なかや よしひこ
中谷 仁彦 隊員（情報発信強化員）

2023年10月に南富良野町に地域おこし協力隊として移住してきた中谷仁彦です。新年を、初めて南富良野町で迎え、幾寅神社での初詣が特に印象的でした。月明かりに照らされた神社の境内は神秘的な雰囲気に包まれ、新しい一年への期待と決意を新たにしました。

2月には、各地域を巡回して「SNSサポート」を行いました。町公式アカウントのLINEやInstagramの登録を促進する活動を通じて、町民の方々と直接交流する機会に恵まれました。皆さんの温かい歓迎と協力的な姿勢に触れ、この町への愛着をさらに深めることができました。SNSを通じた情報発信の重要性を再認識するとともに、地域コミュニティの結束力の強さを実感した貴重な経験となりました。

4月からは、デジタル庁の取り組みによりデジタル推進委員に任命されました。この役割を通じて、南富良野町のデジタル化をさらに推進していく決意を新たに、行政サービスのオンライン化や町民の皆さんのデジタルリテラシー（※1）向上など、様々な課題に取り組んでいく予定です。デジタル技術を活用して、町の魅力を広く発信し、地域の活性化に貢献していきたいと考えています。

南富良野町に来て、早いもので9ヶ月が過ぎました。この間、たくさんの方々に支えられ、豊かな自然に囲まれて過ごせたことに、心から感謝しています。

これからも地域おこし協力隊として、みなさんと一緒に南富良野町を盛り上げていきたいと思えます。「こんなことができたらいいな」など、どんな小さなアイデアでも大歓迎です。一緒に、この素敵な町をもっと素敵にしていきましょう！

いつも温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願ひします。

※1 デジタル技術に関して十分な理解をもち、それを適切に活用することができる技術のこと



デジタル推進委員に任命されました

森 敏範氏が監査委員に再任



6月28日をもって、代表監査委員として4年間の任期が満了となった森敏範氏が再任されました。

森氏は、6月19日から開催されました町議会定例会において、同委員の任命の同意が得られ、6月29日付で辞令が交付されました。

任命期間は、令和6年6月29日から令和10年6月28日までの4年間です。

健康づくりのための運動・ストレッチを紹介します

皆さんは普段、健康について気にしているでしょうか？

これから定期的に、健康増進のための運動やストレッチを紹介していきますので、ぜひご覧ください。

第1回目は、「肩・背中・姿勢にかかわる筋肉のストレッチ」です。

1つ目は「猫と犬のポーズ (Cat & Dog)」です。左が猫のポーズで、右が犬のポーズです。背中やおなかの伸びを感じながら 10 回以上繰り返しましょう。

ポイントは、猫のポーズ時におなかを覗くように背中を丸めることと、犬のポーズ時に前を見て背中を反らすことです。凝り固まった背中をしっかりと伸ばしましょう！！

運動前の準備運動としてもおすすめです！



< 猫のポーズ >



繰り返す 10 回



< 犬のポーズ >

2つ目は「壁バンザイ」です。

壁に背中をつけ、バンザイした状態から肘を 90 度まで曲げます。

肩甲骨の動きを感じながら 10 回以上繰り返しましょう。

ポイントは、手、肘、肩、お尻の 4 点が壁から離れないようにすることです。肩甲骨周りがほぐれ、肩の凝りや姿勢の改善につながります。

背中の中の大きな筋肉を動かすことで、代謝の向上が期待できます。また、姿勢を改善することによって、腰痛や肩の凝りなどが改善されます。できることから少しずつ、健康的な身体を目指しましょう！！



繰り返す 10 回



これらのストレッチの動画は、町HPの生涯学習係のサイトに掲載しております。是非ご覧ください。



6月21日、学校設定科目「アウトドアI」のプレゼンテーション発表（1学年）が行われました。この発表には、保護者や地域の方々にも来校いただき、聴いていただきました。「地域の魅力発見」をテーマに、1年生20人が5班に分かれて発表しました。グループ毎にテーマを設定し、「自然」、「食べ物」、「生物」、「イベント」、「スポーツ」を題材に調べた成果をプレゼンテーションソフトを使って披露しました。

自然と生物の班は、調べたことを発表するだけでなく、クイズ形式で聴衆に問いかける工夫をし、関心を惹いていました。食べ物の班は、地元の特産品や穴場のレストラン等写真をふんだんに使い紹介しました。スポーツの班は、カメラ・ラフ



ティングやカーリング、サイクリングなどの魅力を紹介しました。また、南富良野町における各スポーツの歴史にも触れました。イベントの班は、現在行われているイベントの歴史や、お祭りの意義などを紹介しました。さらに、新たなイベントの提案を行い、地域活性化について考察していました。

この活動の目的は「南富良野町の特色を調査し、分かりやすくプレゼンテーションすること」、「地域の方とコミュニケーションをとり、地域活性化について考えること」です。生徒の発表を聴いていると、この二つの目的は達成されたと思われる。

生徒たちは、町内の様々な施設を訪れ、多くの方にインタビュースし、今回のプレゼンテーションを完成させることが出来ました。ご協力ありがとうございました。今後とも、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

シリーズ 学校だより (226)

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶▶南富良野中学校▶▶▶

邁進する生徒の育成を目指して

4月8日の入学式で14名の新入生を迎え、今年度は全校生徒38名となりました。年度の重点目標は昨年続き「目的意識をもち、未来に向かって主体的に邁進する生徒の育成」とし、教育活動を推進しています。生徒たちは落ち着いた学校生活を送っており、1年生も徐々に中学校での生活に慣れ、全校生徒で取り組む最初の行事である体育祭も、寒さに負けることなく実施することができました。

3年生は4月24日から3泊4日の修学旅行を終え、6月には3年間の部活動の集大成ともいえる中体連大会や旭川での吹奏楽祭に参加しました。それぞれがこれまでのベストパフォーマンスを発揮してくれました。



1年生ももういった上級生の姿を見習い、きつと南富良野中のよきDNAを受け継いでくれると期待しています。

学習や部活動、生徒会活動等、あらゆる教育活動を通し、よりよい自分を目指して「邁進」できるよう、教職員一同取り組んでいるところです。11月30日の地域参観日では、日頃の学習の成果をご覧頂きたいと思えます。

町民の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

しょうぼう広報ほのお



南富良野町民の皆様へ 救命講習を受講しませんか？



救命講習とは？

救命講習とは、消防によって行われている応急処置技能講習のことで、総務省消防庁による「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」に基づき、各地の消防局及び消防本部が指導する公的資格の一つです。救命・悪化防止・苦痛軽減を目的とした応急処置の実技指導が行われます。

講習は「普通救命講習Ⅰ～Ⅲ」の3コースと「上級救命講習」「救命入門コース」「一般救急講習」の計6コースから選ぶことができ、受講した講習に応じて参加証または救命講習修了証が交付されます。

※一般救急講習を除く

また、救命講習は個人での受講も可能となっており、昨年令和5年の南富良野町では227名が救命講習を受講しています。



各コースの講習内容

- ・普通救命講習Ⅰ（180分） 主に成人を対象とした心肺蘇生法等
- ・普通救命講習Ⅱ（240分） 心肺蘇生法等及び筆記並びに実技試験
- ・普通救命講習Ⅲ（180分） 主に小児及び乳児を対象とした心肺蘇生法等
- ・上級救命講習（480分） 心肺蘇生法等、傷病者管理法、外傷手当法搬送法及び筆記並びに実技試験
- ・救急入門コース（90分） 心肺蘇生法及びAED使用法
- ・一般救急講習 心肺蘇生法、AED使用法、副子木固定法、止血法、異物除去法ほか応急処置関連で知りたい処置の方法を一般救急講習では受講可能です。

救急講習の受講の申請書類は、富良野広域連合消防本部ホームページの「届出・申請」からダウンロードをすることができます。

不明な点がございましたら、上記の問い合わせ先までお問い合わせください。



富良野広域連合消防本部
ホームページ



南富良野支署出動件数（令和6年1月1日～令和6年6月30日）

- 救急出動 66件（うちドクターヘリ要請件数 8件）
- 火災出動 1件（うち他市町村応援出動 1件）
- 救助出動 1件

子育て支援センター「ぷっこ」だより

☎ 52-2315

～☆★明るく元気な子に育ちますように☆★～

子育て支援センター ☎ 090-5985-4339

夏休みやお盆を迎え、お出かけする機会が増えますね。

初めてのプール、初めてのキャンプなど、夏のいろんな“初めて”を体験して家族の思い出をたくさん作りましょう。



☆どんころ夏遠足

夏の一大行事、どんころ遠足。小川でパシャパシャ水遊び、気持ちよかったですね！



☆メイクアップ教室

メイクの基本を教えてもらい、お母さんたちは、興味津々でした。



☆ベビーマッサージ教室

3ヶ月から10ヶ月のかわいい赤ちゃんが集まり、お母さんとふれあう素敵な時間になりました。



☆出張金山支援センター

金山保育所のお姉さんたちと交流。ゲームで盛り上がりました！

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

6月22日に運動会がありました。とても暑中、最後まで一生懸命元気いっぱい頑張っていました☆

子どもたちの成長した姿が多く見られたと思います。たくさんの方々が応援に駆けつけてくれ、子どもたちもとても楽しそうでした！！



金山保育所

6月の金山保育所では、ひまわり組のお友達は自然体験学習がありました。かなやま湖で、カヌー体験と魚釣りを楽しみました。初めは、広大な湖に圧倒される子どもたちでしたが、次第に自らの手で魚に触れたり、「なんだか湖の味がするね」と捕まえた魚を食べるまでへっちゃらになった、子どもたちでした。



寄 贈

6月26日、旭川市出身の新ロマン派美術協会員の館小路裕範氏から、「旧幾寅駅舎」と「キハ40と芦別岳」を描いた水彩画の寄贈をいただきました。館小路氏は、定年退職を迎えたあと、今まで勤務していた地方や旅先の写真を題材に風景画を描き始め、絵画展にも応募し数々の受賞歴があります。現在、水彩画は役場に飾ってありますので、ぜひご覧ください。



▲高橋町長と館小路裕範氏

この度の水彩画の寄贈に対しまして、心より厚く感謝申し上げます。

南富良野町公式アカウントの登録をお願いします

南富良野町公式アカウントの登録をお願いします。Instagram、Facebook、X（旧Twitter）、LINEを活用して、南富良野町の魅力や最新情報をお届けしています。町内の皆様にはLINEを通じて生活に役立つ情報を発信しています。Instagram、Facebook、Xでは、町外の方々に向けた南富良野町の素敵な情報を共有しています。ぜひご登録ください。

また、SNSの使い方やスマートフォンに関するお困りごとについてのご相談も承っています。何かご不明点があれば、お気軽にお問い合わせください。



LINE



Instagram



facebook



X

※町ホームページにも (<https://www.town.minamifurano.hokkaido.jp/>)QRコードを載せていますので、ご覧ください。

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆様のご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

○旭川市 館小路裕範様より「旧幾寅駅舎」「キハ40と芦別岳」を描いた水彩画を南富良野町役場へ

一味園・からまつ園・こざくら園・ふくしあへ

- 幾寅 幾寅婦人会 様
- 落合 大町 武 様
- 芽室 大矢 敬子 様
- 旭川市 旭川福祉専門学校 様
- 旭川市 前川原 紀子 様
- 幾寅 高松 冴子 様
- 雨竜 大井 宏紀 様
- 幾寅 北畠 琢郎 様
- 富良野市 三番館ふらの店 様
- 剣淵町 小松 貴弘 様
- 旭川市 坂本 さくら 様
- 清水町 澤山 政子 様

☆お誕生おめでとう

幾寅 星野 遥音はると 様
令和6年6月7日生まれ

★お悔やみ申し上げます

幾寅 高橋 笑子はらこ 様 (89)
令和6年6月5日逝去

金山 津田 シズエしずえ 様 (98)
令和6年6月5日逝去

幾寅 高橋 龍介りゅうすけ 様 (87)
令和6年6月27日逝去

幾寅 香川 澄美子すみこ 様 (83)
令和6年6月28日逝去

南 わたしたちのまち

人口 (令和6年6月末日現在)
男 2,266人 (△9)
女 1,158人 (△3)
世帯数 1,108戸 (△6)
1,314戸 (△4)
() 内は前月比